令和7年度　高松市外郭団体　経営評価シート

1　団体情報

No.	2	種別	株式会社	団体名	株式会社高松市食肉卸売市場公社		
所在地	香川県高松市郷東町587番地197						
電話番号	087-882-8911			FAX番号	087-832-8070	所管部局	創造都市推進局 農林水産課
団体ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	ー						
代表者職氏名	代表取締役社長　二川　隆一			設立年月日	平成11年10月		
資本金	29,950　千円			市出資等額(割合)	15,000　千円	（　50.1%　）	
設立目的	高松市郷東町に平成11 年10 月に開設した高松市食肉センターにおいて、食肉卸売市場の開設、食肉及び獣畜のと殺解体処理に伴う副産物の販売委託業務並びに冷凍保管に関する事業等を目的に設立。						
事業概要	副産物の冷凍保管・委託販売事務、肉牛の受託販売業務						
評価対象決算期	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日						

2　組織の状況(4月1日現在)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
役員数(非常勤含む)	4 人	5 人	6 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
役員平均年間報酬	420　千円	360　千円	360　千円
職員数(非常勤含む)	0 人	0 人	0 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
職員平均年間報酬	0　千円	0　千円	0　千円

3　主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
受託販売業	牛枝肉等の受託販売	6,537,915　千円

4　市の財政的関与の状況

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
補助金	0　千円	0　千円	0　千円
委託料	0　千円	0　千円	0　千円
うち指定管理料	0　千円	0　千円	0　千円
その他	0　千円	0　千円	0　千円

5 財務状況

①損益計算書

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
売上高	228,970 千円	203,659 千円	2,835,605 千円
売上原価	0 千円	0 千円	2,640,091 千円
売上総利益	228,970 千円	203,659 千円	195,514 千円
販売費及び一般管理費	227,586 千円	203,005 千円	195,258 千円
営業利益(△の場合は損失)	1,384 千円	654 千円	256 千円
営業外収益	2,187 千円	731 千円	602 千円
営業外費用	0 千円	0 千円	0 千円
経常利益(△の場合は損失)	3,571 千円	1,385 千円	858 千円
特別利益	0 千円	0 千円	0 千円
特別損失	0 千円	0 千円	0 千円
法人税等	1,383 千円	654 千円	256 千円
当期純利益(△の場合は損失)	2,188 千円	731 千円	602 千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

②貸借対照表

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動資産	244,549 千円	408,528 千円	419,413 千円
固定資産	73 千円	73 千円	73 千円
資産計	244,622 千円	408,601 千円	419,486 千円
流動負債	205,520 千円	373,618 千円	385,846 千円
固定負債	0 千円	0 千円	0 千円
負債計	205,520 千円	373,618 千円	385,846 千円
資本金	29,950 千円	29,950 千円	29,950 千円
利益剰余金等	9,152 千円	5,033 千円	3,690 千円
純資産計	39,102 千円	34,983 千円	33,640 千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

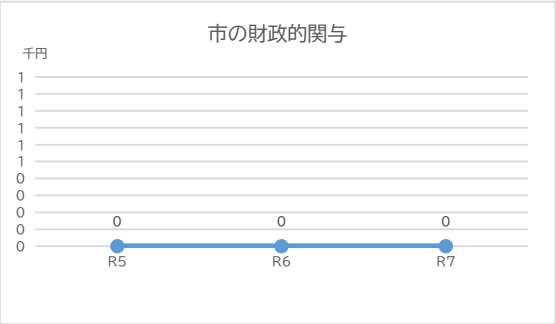
＜主な経営指標＞

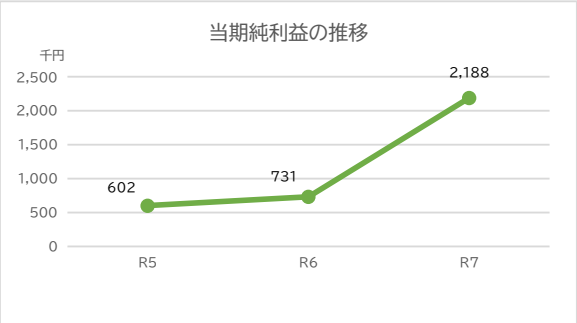
区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動比率 （流動資産÷流動負債）	119.0 %	109.3 %	108.7 %
自己資本比率 （純資産計÷負債･純資計産）	16.0 %	8.6 %	8.0 %

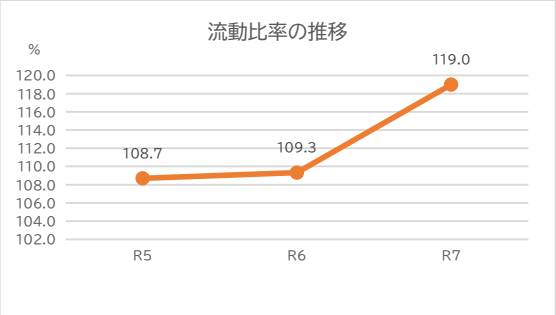
6 経営評価の総括

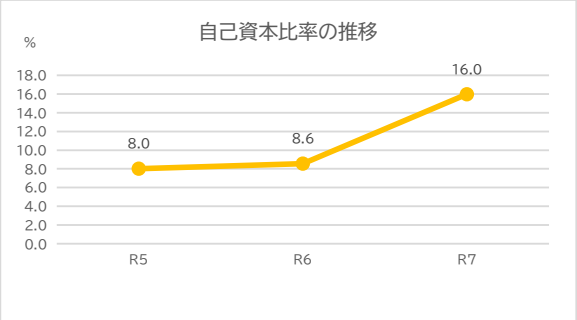
項　目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命･市が期待する役割への対応	本市及び香川県産の肉牛の集荷に取り組み、地域の食肉流通の確保に努めた。	受託販売等を通じて肉牛の集荷及び取引の円滑化に寄与し、地域の食肉流通の安定確保に重要な役割を果たしている。引き続き、関係事業者との連携を強化し、公正かつ安定的な市場機能の維持･向上に努められたい。
②業務･組織管理	適正な業務執行に努めるとともに、職員間の情報共有や連携を図り、効率的な組織運営に取り組んだ。	関係法令･規程等に基づく適正な業務執行に努めるとともに、職員間の情報共有や連携を図り、効率的な組織運営に取り組んだことが認められる。引き続き、内部統制の徹底及び業務の効率化に向けた取組を継続されたい。
③財務状況	収支状況を適切に把握･管理し、健全な財務運営に努めた。	市からの補助金等の財政的関与がない中で運営され、当期純利益は増加し、利益剰余金の積み増しが図られているなど、収支は概ね健全に推移している。また、流動比率も改善しており短期的な支払能力は一定確保されている。今後も取引規模が大きいことを踏まえ、資金繰り･債権管理を適切に行い、財務基盤の維持･強化に努められたい。
④今後の方向性及び課題	今後も安定した集荷･流通体制の維持に努めるとともに、業務の効率化を図り、安定した経営基盤の確保に取り組む。	食肉需要や市況変動、家畜疾病等のリスクに備えつつ、安定的な集荷･受託販売体制の継続が必要である。また、業務の効率化、コスト管理の徹底、コンプライアンスの確保を進め、持続可能な経営基盤の確保に取り組むことを求める。

【再掲】各指標の推移


市の財政的関与
千円
1
1
1
1
1
1
0
0
0
0
0
0
R5
R6
R7


当期純利益の推移
千円
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
602
731
2,188
R5
R6
R7


流動比率の推移
%
120.0
118.0
116.0
114.0
112.0
110.0
108.0
106.0
104.0
102.0
108.7
109.3
119.0
R5
R6
R7


自己資本比率の推移
%
18.0
16.0
14.0
12.0
10.0
8.0
6.0
4.0
2.0
0.0
8.0
8.6
16.0
R5
R6
R7